

序 文

近年、マイクロ・エレクトロニクスを応用した生産機器や生産システムが、企業の現場に広く浸透するとともに、そこで要求される労働能力のあり方が大きく変化してきた。こうした生産設備に関する技術革新の動向は、企業の教育訓練に対する考え方にも影響をおよぼし、特に中小企業においては、OJTによる教育訓練のみでは対応しきれない分野が多くなり、offJTによる教育訓練に期待を求め、研修や講習に対する要望が高まって来ている。

全国の公共職業訓練施設では、地域ニーズをふまえ、こうした技術革新、労働能力の変革に対応した向上訓練の開設等に努力を重ねているが、これからも地域産業界の向上訓練に対する期待はますます大きくなることが予測される。

当センターでも、臨床実践的研究の一環として、今までの熟練技能者が新技術に対応出来るようにするためのコースや、NC機械作業者が切削技術に関して再認識を図るコース等、マイクロエレクトロニクス応用技術と本来の技能・技術の融合をねらいとし、技術、技能の高度化を目標とした向上訓練コース開発を行ってきた。

これらはどちらかといえば個々の生産機器や作業に対する内容が主であったわけですが、最近の生産現場では、生産機器のNC化や自動化はもちろん、工場全体を自動システム化するまでにメカトロニクス技術が進んできており、これに対応できる技術者養成が強く求められている。

このプロジェクトでは、生産の自動化やシステム化に関して、メカトロニクスを理解し、現場に応用できる総合的な基礎技能と技術を持った技能者養成の向上訓練コース開発を栃木技能開発センターと共同で行い、向上訓練事業の一環として実施したもので、目標が大きく訓練内容の設定も難しい分野だけに、これからの向上訓練体系の中で公共訓練が果たすべき重要な意味と内容を示唆するものとなるはずである。

職業訓練に携わる各方面の方々のご意見ご指導を賜るよう心よりお願いしたい。なお、この研究開発プロジェクトに加わっていただいた、委員の諸先生及び実践にあたりご協力をいただいた栃木技能開発センターの職員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

平成2年3月

職業訓練研修研究センター

所 長 志 賀 武 彦

訓研調査研究報告書 第57号

メカトロに関する向上訓練コース開発

－制御システム化への道－

発行 1990年3月

発行者 職業訓練研修研究センター
所長 志賀 武彦
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911(代)

印刷 (株) ワークワン
〒229 相模原市中央3-8-5
電話 0427-58-6091